



Aviarc Global, Ltd.

導入から稼働まで 15 分未満、フットプリントの小さい
IBM WebSphere Liberty Profile

概要

実装の遅れ

開発者は、開発にはオープン・ソースのコンテナを、実装にはサポート付きのコンテナを使用していました。この方法が実装の遅れの原因になっていました。

軽量のソリューション

IBM® WebSphere Liberty Profile により、開発者は、WebSphere Application Server のフル・プロファイルとの互換性を保持するように開発された軽量のランタイムで、Web アプリケーションを開発、組み立て、テスト、公開できます。

実装の迅速化

Liberty Profile は、導入から稼働するまでに 10 分から 15 分かかりません。その小さいフットプリントと素早い再起動によって、迅速な開発が可能になります。

IBM ビジネス・パートナーである Aviarc Global, Ltd. は、Core Technology Group の傘下にある、社員数 70 人ほどのソフトウェア開発会社です。ニュージーランドを拠点として、オーストラリアにも複数のオフィスを構え、最近、ビジネスの足掛かりとして、シンガポールに進出しました。

ニーズ

ほかのソフトウェア開発会社同様、Aviarc社も「開発環境でサポート付きのコンテナを使用するように開発者を説得する」という課題に直面していました。サポート付きのコンテナの使用は、サーバーの再起動と変更の伝搬に時間がかかるため、開発者のいら立ちの種でした。そのため、開発者は、開発には Apache Tomcat などのオープン・ソースのコンテナを、実装には IBM WebSphere Application Server などのサポート付きのコンテナを使っていました。

しかし、開発環境ではオープン・ソースのコンテナを使用し、実装環境ではサポート付きコンテナを使用することで、2 つの環境間で不整合が生じます。Aviarc Global, Ltd. の上級コンサルタント、Geoff McIver 氏は、「実装時には、構成にもライブラリーにも変更があります。思わぬ事態が実装中に発生するのは困ります。私たちは、製品を開発から実装に迅速に移行できるようにしたいのです。なぜならば、最初の実装こそがお客様が見るものだからです。最初の実装は可能な限りスムーズにする必要があります」と述べています。

「Liberty Profile と IBM WebSphere Application Server Developer Tools for Eclipse を使用することで、開発者は、WAS のフル・プロファイルとの互換性を保持するように開発された軽量のランタイムで、Web アプリケーションの開発、組み立て、テスト、公開を行えるようになりました」

—Geoff McIver (Aviarc Global, Ltd. 上級コンサルタント)



McIver 氏によると、開発と実装の両方に適したサポート付きのコンテナは存在しませんでした。ただし、これからは違います。McIver氏は、「変革の時が来たのです。私たちは今こそ、開発と実装に対応する軽量でフットプリントの小さいコンテナが必要であるとはっきり感じています」と述べています。

ソリューション

この変革をもたらしたのは IBM WebSphere Application Server Version 8.5 Liberty Profile です。これは、開発者専用設計された軽量でフットプリントの小さい WebSphere Application Server のプロファイル製品です。McIver 氏は、「Liberty Profile と、付属の IBM WebSphere Application Server Developer Tools for Eclipse を使用することで、開発者は初めて、WAS のフル・プロファイルとの互換性を保持するように開発された軽量のランタイムで、Web アプリケーションを開発、組み立て、テスト、公開できるようになりました」と述べています。

IBM は Liberty Profile のベータ・プログラムに Aviarc 社 を招待しました。McIver 氏によると、「製品の稼働までには数日かかる」というのが Aviarc 社での予想でした。「しかし、実際にはブートストラップまでは 10 分から 15 分でした。本当に驚きました。Liberty Profile は、さまざまなベンダーから届く多くのベータ製品とは異なり、構成が容易です」

「Liberty Profile の最大の強みは、フットプリントの小ささと再起動の速さです」と McIver 氏は続けます。「弊社は、迅速な開発グループと見なされることが多いため、スピードが重要と考えています。私たちが小さいチームであることも、弊社の課題の 1 つです。私たちにはダウンタイムを許容する余裕も、時間を長くかける余裕もありません。何でも素早くやる必要があるのです」

Liberty Profile が持つオプションの 1 つに、組み込みサーバーを実装するアプローチがあります。McIver 氏は、「フットプリントが小さく、構成も容易であるため、弊社では実装全体を 1 つのパッケージで出荷できるようになりました。これによって管理のオーバーヘッドと実装のオーバーヘッドを大幅に削減できる上、実装中の思いがけない事態の発生も減らせます。また、自分たちがテストしたものが実際に実装されるといふ確信が持て、別の方法よりもはるかに信頼性の高いものを提供できます」と述べています。

メリット

- Liberty Profile の導入から稼働までにかかる時間は 10 分から 15 分
- 小さいフットプリントと素早い再起動が迅速な開発を可能に
- 製品とランタイムを 1 つのパッケージで出荷することで、エラーを最小化

詳細について

IBM WebSphere Application Server Version 8.5 Liberty Profile の詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

- ibm.biz/was_jpn
- wasdev.net (Liberty Profile の開発者フォーラム)



© Copyright IBM Corporation 2014

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
September 2014

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および WebSphere は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用できるわけではありません。

本資料の掲載情報は特定物として現存するままの状態提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。



Please Recycle